【9月21日は世界アルツハイマーデーです】

世界アルツハイマーデー 記念講演会

演題 みんなで支え合う未来 ～大切な記憶と共に～

日時 令和７年 **9月20日(土)** 13:30～15:30(受付13:00～)

入場無料 **定員200名**

記念講演 ①

認知症になってからの セカンドストーリー

若年性認知症のご本人　山中 しのぶ 氏

一般社団法人セカンド・ストーリー代表理事
日本認知症本人ワーキンググループの代表理事

◆講師からのメッセージ◆

3人の子供をシングルマザーで子育てしている中、2017年頃から体調の不調を感じ病院受診するが、鬱のような感じと言われ原因がはっきりしないまま生活をしていました。
しかし、2019年に若年性アルツハイマーをテーマにしたドラマを見た、当時高校3年生の息子に認知症と疑われ受診し診断を受けました。
絶望期間を経て、現在では認知症になっても悪くない社会をつくりたいと思い、2024年4月に法人を設立。メンバー（利用者）と一緒に地域の企業と連携し、働くデイサービスを経営し、自らも介護職員として働いています。
本講演では、診断前から診断後、現在にわたる私たちのストーリーを発表させていただきます。

記念講演 ②

「がんばったよ、俺！」
― 若年性認知症になってみんなに伝えられること ―

若年性認知症のご本人　井上 重寶 氏

ひょうご認知症希望大使
就労継続支援A型事業所に通所中（現在66歳）

◆講師からのメッセージ◆

現役時代、大手IT企業に長年勤務し、管理職として貢献してきましたが、認知症をきちんと理解していなかった会社と上司から、「何もできない」と決めつけられ、理不尽な対応を毎日受けました。そして、精神的に追い込まれ、定年を目前に、退職を余儀なくされました。「行くところ」と「やること」を一度に失った私は、収入が途絶え、経済的な不安を抱えながら、これからどうしたら良いかと、悶々と辛い日々を送りました。その後、同世代の同じ様な経験をもつ若年性認知症ご本人の方々との交流により、「元気」と「勇気」をもらい、自分自身を取り戻すことができました。日常生活では、試行錯誤、独自の方法で病状回復の努力をし、就労継続支援事業所に通所できるまでになりました。
本講演では、認知症になってからの出来事や就労継続の難しさなど、いろいろな経験を通して考えたこと、思ったことをお話し、話題提供したいと思います。

受付期間

~~令和7年9月6日(土)消印有効~~

会場 **㈳兵庫県農業会館**
大ホール（11階）

神戸市中央区海岸通1番地　TEL:078-333-5951
◎JR・阪神　各元町駅東口下車　南徒歩約5分

申込方法

完全事前申し込み制です。

メール又はハガキに、
① 代表者および参加希望者全員の「氏名、住所、電話番号」
② 手話通訳が必要な方は「手話通訳希望」と記入のうえ、下記までお申し込みください。
当日、直接ご来場ください。ただし、定員を超える申込みがあった場合は抽選とさせていただき、ご参加いただけない方には代表者の方にご連絡させていただきます。
※ ご記入いただいた個人情報については、本講演に関すること以外に利用することはありません。

申込・問い合わせ先

〈事務局〉〒651-1106 神戸市北区しあわせの村1番10号
神港園しあわせの家内

公益社団法人
認知症の人と家族の会　兵庫県支部
TEL:078-741-7707（月・木）10:00～17:00 ※祝日除く
E-MAIL:kazokunokai-hyogo@kobe.email.ne.jp

■**主催**：公益社団法人 認知症の人と家族の会 兵庫県支部・神戸市
■**後援**：厚生労働省・兵庫県・兵庫県医師会・神戸市医師会・兵庫県社会福祉協議会・神戸市社会福祉協議会・兵庫県作業療法士会・神戸市ケアマネジャー連絡会